



Roche ロシュグループ

平成 **22** 年度 中間期

# 株主通信

平成22年1月1日～平成22年6月30日

中外製薬株式会社

証券コード ● 4519



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに平成22年度中間期(平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。  
株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年9月

代表取締役社長 永山 治

●目次

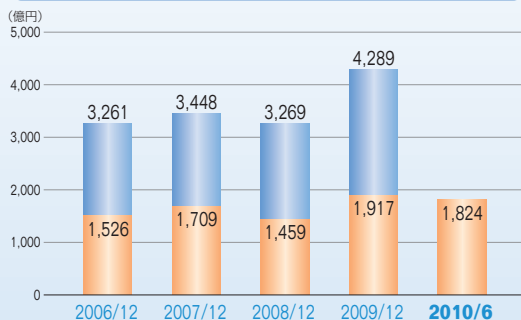
株主のみなさまへ	1	主な臨床開発の状況	7
連結財務ハイライト	2	主要製品	10
事業の概況【連結】	3	株式の概況	11
財務諸表【連結】	6	会社の概況	13

# 連結財務ハイライト

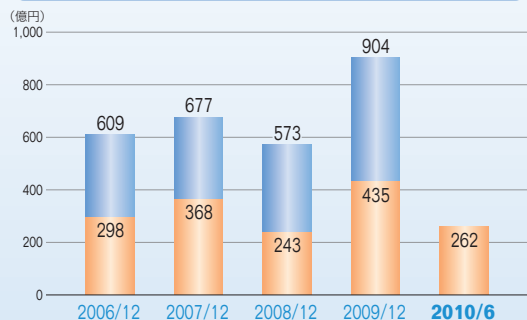
		2006/12	2007/12	2008/12	2009/12	2010/6
売上高	(億円)	3,261	3,448	3,269	4,289	1,824
営業利益	(億円)	583	667	516	826	276
経常利益	(億円)	609	677	573	904	262
当期純利益	(億円)	384	401	393	566	164
総資産	(億円)	4,621	4,589	4,785	5,405	5,072
純資産	(億円)	3,916	3,858	3,971	4,347	4,339
1株当たり当期純利益	(円)	69.35	73.23	72.07	104.00	30.09
1株当たり純資産額	(円)	703.08	703.80	725.18	794.51	793.50

■ 通期 ■ 第2四半期

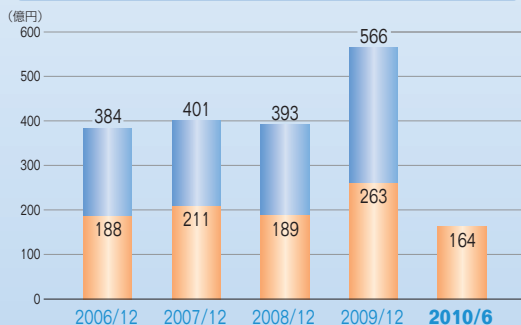
## 売上高



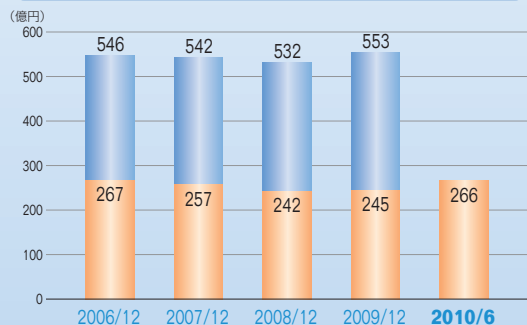
## 経常利益



## 当期純利益



## 研究開発費



販売の状況

- 売上高 ▶ **1,824** 億円 (前年同期比4.9%減)
- 海外売上高 ▶ **196** 億円 (前年同期比21.0%増)

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,824億円 (前年同期比4.9%減)となりました。

年度間で変動の大きい抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」の売上高120億円 (同52.8%減) 及びその他の営業収入17億円 (同70.2%減)を除いた製商品売上高は、1,686億円 (同5.0%増)となりました。  
[国内製商品売上高(タミフルを除く)]

がん領域では、平成21年11月に非小細胞肺癌を追加適応症として承認された抗悪性腫瘍剤／抗VEGFヒト化モノクローナル抗体「アバスチン」と平成21年9月に大腸がんを追加適応症としてオキサリプラチンとの併用療法の追加承認を取得した抗悪性腫瘍剤／5-FU誘導体「ゼローダ」をはじめとする新製品及び適応拡大品が順調に市場へ浸透した結果、646億円 (同11.8%増)となりました。

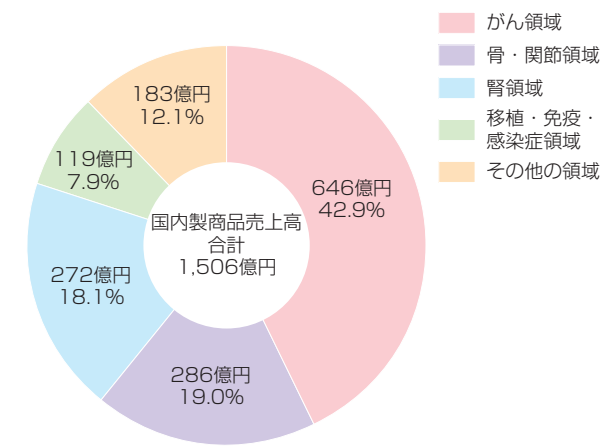
骨・関節領域では、ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体「アクテムラ」が売上を順調に伸ばし、286億円 (同6.3%増)となりました。

一方、腎領域では、薬価改定の影響と競争激化の影響により遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」の売上が減少し、272億円 (同5.6%減)となりました。

移植・免疫・感染症領域(タミフルを除く)では、C型慢性肝炎の併用療法浸透によりペグインターフェロン-α-2a製剤「ペガシス」、抗ウイルス剤「コペガス」が、順調に市場シェアを獲得しておりますが、市場全体が減少している影響を受けて売上が減少し、119億円 (同7.0%減)と

なりました。  
[抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」について]  
通常シーズン向けの売上は、新型インフルエンザの流行が早期に沈静化したため14億円 (同87.3%減)となりました。行政備蓄向けの売上は、106億円 (同26.4%減)となりました。  
[海外製商品売上高]  
バイオ後続品と為替の影響により遺伝子組換えヒトG-CSF製剤「ノイトロジン」の売上が減少したものの、平成22年1月に米国食品医薬品局(FDA)から承認を取得し、同月アメリカで発売され、現在50カ国以上で販売されている「アクテムラ」(欧州製品名:RoActemra)のロシュへの輸出が増加した結果、181億円 (同27.5%増)となりました。

国内製商品売上高の状況



注) タミフルを除く

## 損益の状況

- 営業利益 ▶ **276** 億円 (前年同期比25.8%減)
- 経常利益 ▶ **262** 億円 (前年同期比39.8%減)

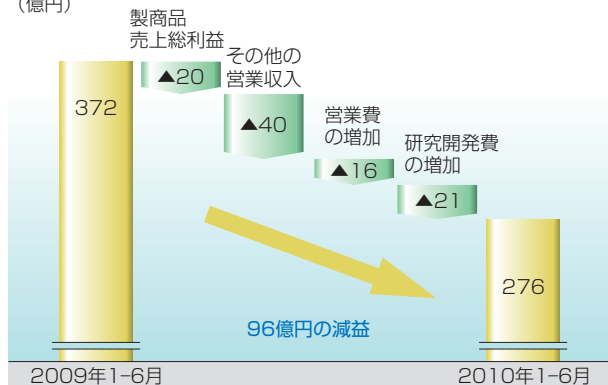
タミフルの売上高の減少及びマイルストーン収入の減少によるその他の営業収入が減少し、売上総利益は1,018億円(同5.6%減)になりました。

販売費及び一般管理費については、人件費の増加、欧州における「アクテムラ」のコプロモーション活動の推進等により営業費が477億円(同3.5%増)となり、創薬研究への積極的な投資及び早期段階開発テーマの活動増加により、研究開発費は266億円(同8.6%増)となりました。

その結果、営業利益は276億円(同25.8%減)となりました。また、外貨取引に備えて実施している為替予約について前年同期の評価益に対し当期は評価損を計上したことから、経常利益は262億円(同39.8%減)、四半期純利益は164億円(同37.6%減)となりました。

### 営業利益の増減内訳

(億円)



## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は699億円となりました(前年同期末残高806億円)。

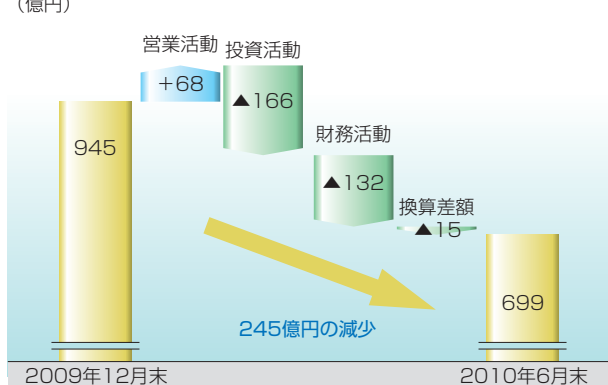
「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、68億円の収入(前年同期は337億円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益261億円、売上債権の減少額221億円、法人税等の支払額217億円、たな卸資産の増加額197億円などです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、166億円の支出(前年同期は133億円の支出)となりました。有価証券及び投資有価証券の取得と売却の純額で80億円、固定資産の取得で75億円、定期預金の預入と払戻の純額で11億円をそれぞれ支出しました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、132億円の支出(前年同期は110億円の支出)となりました。前期の期末配当金は普通配当金17円に特別配当として6円を加えた1株当たり23円であったことにより、配当金の支払に125億円を支出しました。

### キャッシュ・フローの状況

(億円)



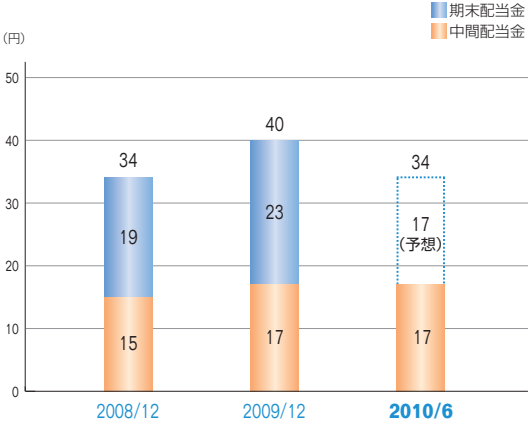
中間配当について

平成22年7月22日開催の取締役会において、平成22年6月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対して行う中間配当の実施につき、次のとおり決議いたしました。

中間配当金 1株につき 17円

- 1. 配当財産の種類 . . . . . 金銭
- 2. 配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
 当社普通株式 . . . . . 1株につき金17円  
 総額 . . . . . 金9,251,362,498円
- 3. 剰余金の配当が効力を生じる日 . . . . . 平成22年9月1日

1株当たり配当金の推移



平成22年12月期連結業績予想  
(平成22年2月3日公表数値)

売上高	4,185	億円 (前期比2.4% ↓)
タミフルを除く 製商品売上高	3,753	億円 (前期比9.4% ↑)
営業利益	700	億円 (前期比15.3% ↓)
経常利益	705	億円 (前期比22.0% ↓)
当期純利益	440	億円 (前期比22.3% ↓)
1株当たり 当期純利益	80.85	円

# 財務諸表【連結】

## 連結貸借対照表

単位：億円

科 目	当第2四半期 2010年6月30日現在	前 期 2009年12月31日現在
<b>資産の部</b>	<b>(5,072)</b>	<b>(5,405)</b>
流動資産	3,834	4,113
現金及び預金	813	1,070
受取手形及び売掛金	992	1,216
有価証券	617	522
たな卸資産	1,117	926
その他流動資産	295	379
固定資産	1,238	1,292
有形固定資産	898	937
無形固定資産	26	32
投資その他の資産	314	323
うち投資有価証券	80	97
資産合計	5,072	5,405
<b>負債の部</b>	<b>(733)</b>	<b>(1,059)</b>
流動負債	685	1,005
支払手形及び買掛金	322	343
その他流動負債	363	662
固定負債	48	54
その他固定負債	48	54
<b>純資産の部</b>	<b>(4,339)</b>	<b>(4,347)</b>
資本金	730	730
資本剰余金	928	928
利益剰余金	3,118	3,080
自己株式	△363	△363
その他有価証券評価差額金	15	16
為替換算調整勘定	△111	△68
新株予約権	6	5
少数株主持分	14	18
負債純資産合計	5,072	5,405

## 連結損益計算書

単位：億円

科 目	当第2四半期 2010年1月 1日から 2010年6月30日まで	前第2四半期 2009年1月 1日から 2009年6月30日まで
売上高	1,824	1,917
売上原価	805	839
売上総利益	1,018	1,078
営業費	477	461
研究開発費	266	245
営業利益	276	372
営業外収益	30	69
営業外費用	44	6
経常利益	262	435
特別利益	1	3
特別損失	1	1
税金等調整前四半期純利益	261	437
四半期純利益	164	263

## 連結キャッシュ・フロー計算書






単位：億円

科 目	当第2四半期 2010年1月 1日から 2010年6月30日まで	前第2四半期 2009年1月 1日から 2009年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	68	337
投資活動による キャッシュ・フロー	△166	△133
財務活動による キャッシュ・フロー	△132	△110
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△15	6
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△245	99
現金及び現金同等物の 期首残高	945	707
現金及び現金同等物の 四半期末残高	699	806
















主な臨床開発の状況 (2010年7月22日現在)

開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症	開発 地域	ステージ(時期)						オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売	
<b>RG435</b> ペバシズマブ／アバスチン／注射	抗VEGF(血管内皮増殖因子)ヒト化モノクローナル抗体	乳がん(適応拡大)	日本				09/10			ロシュ [Avastin]
		結腸がん(アジュバント)(適応拡大)	*							
		胃がん(適応拡大)	*							
		乳がん(アジュバント)(適応拡大)	*							
		グリオブラストーマ(適応拡大)	*							
		グリオブラストーマ(再発例)(適応拡大)	日本							
<b>EPOCH</b> エポエチン ペータ／エポジン／注射	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン	がん治療に伴う貧血(適応拡大)	日本				09/11			自社
<b>RG340</b> カベシタピン／ゼローダ／経口	代謝拮抗剤 酵素活性化型5-FU 誘導体	胃がん(適応拡大)	*				10/03			ロシュ [Xeloda]
<b>RG597</b> トラスツズマブ／ハーセプチン／注射	抗HER2ヒト化モノクローナル抗体	胃がん(適応拡大)	*				10/03			ロシュ [Herceptin]
<b>RG1415</b> エルロチニブ塩酸塩／タルセバ／経口	EGFRチロシンキナーゼ阻害剤	肺癌(適応拡大)	日本				09/09			ロシュ・OSI [Tarceva]
		非小細胞肺癌(1次治療)(適応拡大)	日本							
<b>RG1273</b> ベルツズマブ／製品名未定／注射	HER二量体化阻害ヒト化モノクローナル抗体	乳がん	*							ロシュ
<b>MRA</b> トシリズマブ／アクテムラ／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体	肺癌(適応拡大)	日本							自社 <ロシュ>
<b>TP300</b> 一般名未定／製品名未定／注射	トポイソメラーゼⅠ阻害剤	胃がん等	海外							自社
<b>CIF(RG7167)</b> 一般名未定／製品名未定／経口	MEK阻害剤	固形がん	日本							自社 <ロシュ>
			海外							



開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症	開発地域	ステージ(時期)						オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売	
<b>CKI27(RG7304)</b> 一般名未定／製品名未定／経口	Raf／MEK阻害剤	固形がん	日本							自社 <ロシュ>
			海外							
<b>GC33</b> 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト化抗グリピカン3モノクローナル抗体	肝がん	海外							自社
<b>GA101(RG7159)</b> 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト化抗CD20モノクローナル抗体	非ホジキンリンパ腫	日本							GlycArt
<b>RG3502</b> 一般名未定／製品名未定／注射	抗HER2ヒト化モノクローナル抗体 薬剤結合抗体	乳がん	日本							ロシュ

●骨・関節領域

<b>ED-71</b> エルデカルシトール／製品名未定／経口	活性型ビタミンD <sub>3</sub> 誘導体	骨粗鬆症	日本				09/10			自社 <大正製薬>
<b>MRA</b> トシリズマブ／Actemra RoActemra(EU)／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体	全身型若年性特発性関節炎(sJIA) (適応拡大)	海外							自社 <ロシュ>
<b>MRA</b> トシリズマブ／アクテムラ／注射		関節リウマチ (新剤形：皮下注射剤)	日本							
<b>RG1594</b> オクレリズマブ／製品名未定／注射	ヒト化抗CD20モノクローナル抗体	関節リウマチ	*							ロシュ
<b>RG484</b> イバンドロン酸ナトリウム水和物／製品名未定／注射	ビスフォスフォネート系骨吸収抑制剤	骨粗鬆症	日本							ロシュ [Boniva(US)・Bonviva(EU)] <大正製薬>
<b>RG484</b> イバンドロン酸ナトリウム水和物／製品名未定／経口			日本							

\*：国際共同治験    ：今期の進捗

Phase1(第Ⅰ相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性及び体内動態の確認を行う。

Phase2(第Ⅱ相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase3(第Ⅲ相臨床試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

主な臨床開発の状況 (2010年7月22日現在)

開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症	開発 地域	ステージ(時期)						オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売	

腎領域

RG744 一般名未定／製品名未定／注射	持続型エリスロポエチン受容体アクチベーター	腎性貧血	日本				09/07			ロシュ [Mircera]
-------------------------	-----------------------	------	----	--	--	--	-------	--	--	------------------

移植・免疫・感染症領域

RG964 リバビリソ／コペガス／経口	抗ウイルス剤 ペガシス併用	C 型代償性肝硬変 (適応拡大)	日本							ロシュ [Copegus]
RG442 ペグインターフェロンアルファ-2a／ ペガシス／注射	遺伝子組換えペグ化インターフェロン	B 型慢性肝炎 (適応拡大)	日本							ロシュ [Pegasys]
NA808 一般名未定／製品名未定／注射	セリンパルミトイルトランスフェラーゼ阻害剤	C 型慢性肝炎	日本							自社
			海外							

その他の領域

EPOCH エポエチン ペータ／エボジン／注射	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン	自己血貯血 (適応拡大)	日本					10/06		自社
CSG452(RG7201) 一般名未定／製品名未定／経口	SGLT2阻害剤	Ⅱ型糖尿病	*							自社 <ロシュ>
RG1583(ITM-077) taspoglutide／製品名未定／注射	GLP-1 アナログ	Ⅱ型糖尿病	日本							ロシュ・ イブセン<帝人>
RG1678 一般名未定／製品名未定／経口	GLYT1 阻害剤	統合失調症	*							ロシュ
RG1450 gantenerumab／製品名未定／注射	ヒト抗アミロイドベータモノクローナル抗体	アルツハイマー病	日本							ロシュ・ Morphosys

\* : 国際共同治験    : 今期の進捗

Phase1 (第Ⅰ相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性及び体内動態の確認を行う。

Phase2 (第Ⅱ相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase3 (第Ⅲ相臨床試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

# 主要製品

## ●がん領域

ハーセプチン®	抗悪性腫瘍剤
リツキサン®	抗悪性腫瘍剤
アバスチン®	抗悪性腫瘍剤
ゼローダ®	抗悪性腫瘍剤
タルセバ®	抗悪性腫瘍剤
フェマーラ®	抗悪性腫瘍剤

### 支持療法剤

ノイトロジン®	好中球減少症治療剤
カイトリル®	制吐剤

## ●骨・関節領域

アクテムラ®	関節リウマチ治療剤
エビスタ®	閉経後骨粗鬆症治療剤
アルファロール®	骨代謝改善剤
スベニール®	関節機能改善剤

## ●腎領域

エボジン®	腎性貧血治療剤
オキサロール®	二次性副甲状腺機能亢進症治療剤
レナジェル®	高リン血症治療剤

## ●その他の領域

タミフル®	抗インフルエンザウイルス剤
シグマート®	不安定狭心症・急性心不全治療剤
ペガシス®	C型慢性肝炎治療剤
コベガス®	抗ウイルス剤
ロセフィン®	セフェム系抗生物質製剤
セルセプト®	免疫抑制剤



アバスチン®



アクテムラ®



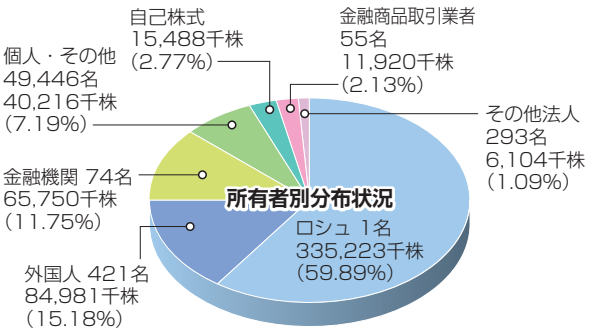
エボジン®

# 株式の概況

## ● 株式状況

発行可能株式総数..... 799,805,050株  
発行済株式の総数..... 559,685,889株  
株主数..... 50,291名

## ● 株式分布状況

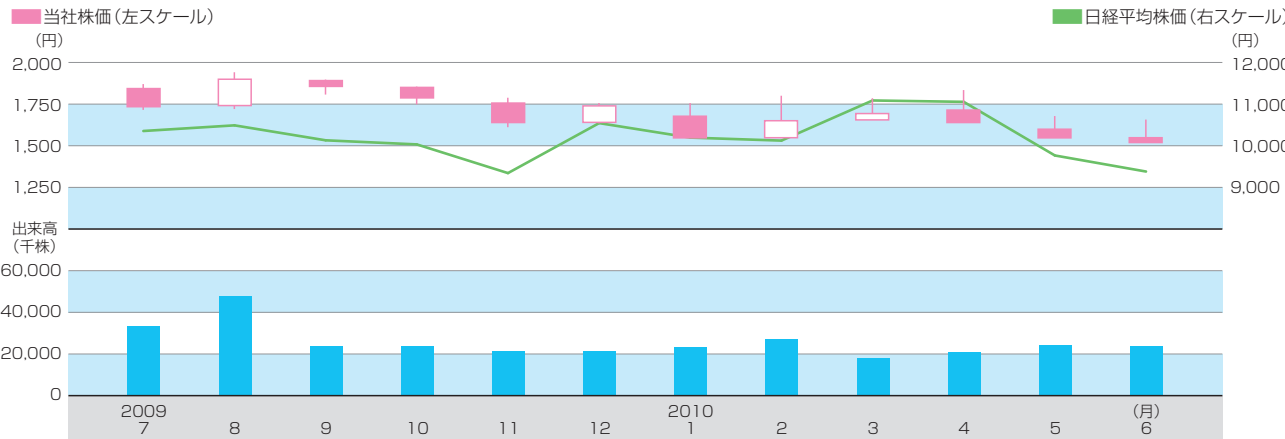


## ● 大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
ロシュ・ファームホールディング・ビー・ヴィ	335,223	61.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,385	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,067	2.40
東京海上日動火災保険株式会社	5,056	0.93
ジェービー モルガン チェース バンク 385147	4,501	0.83
ジェービー モルガン チェース バンク 385078	4,242	0.78
メロンバンク エヌイー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	3,805	0.70
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,052	0.56
中外製薬社員持株会	3,014	0.55
住友生命保険相互会社	3,000	0.55

※当社は自己株式15,488,095株を所有しておりますが、上表記載の10名の大株主の中には含めておりません。  
※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## ● 株価の推移



## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当金 期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日  
中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日

公告 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人

特別口座の  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081

同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京

## 株式に関する手続き等について

お問合せ内容	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
改姓・改名のお届け 住所変更・住居表示変更のお届け	お取引の証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
単元未満株式の買取・買増請求		
配当金の銀行振込のご指定、振込先・振込方法変更のお届け		
まだお受取りになっていない配当金の受領について	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル) <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>	
株主様宛郵便物の発送・返戻について		
特別口座に関するお問合せ		

特別口座\*: 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に口座(特別口座)を開設いたしました。

## 「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

平成21年1月に行われた株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されなかった株主様には、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設しております。特別口座は、株主様の権利を保全するための暫定的な口座であり、この特別口座に記録された株式は、証券会社の取引口座に振り替えなければ売買できません。また、証券会社の取引口座に株式を振り替えると、配当金受領等の面で便利になりますので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

特別口座からの振替のお手続きにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行、または、お取引の証券会社へお問い合わせください。

# 会社の概況

## ●会社概要

会社設立	1943年(昭和18年)3月8日	従業員数	6,707名(連結)
創業	1925年(大正14年)3月10日	本店	東京都北区浮間五丁目5番1号
資本金	72,966,825,723円	本社事務所	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

## ●主要な連結子会社

### 中外製薬工業株式会社

- 資本金／80百万円 ●持株比率／100%
- 主な事業内容／医薬品の製造受託

### 中外ファーマ・マーケティング・リミテッド(英国)

- 資本金／8,677千英ポンド ●持株比率／100%
- 主な事業内容／欧州における販売統轄・医薬品の販売

## Information

### ホームページのご案内



<http://www.chugai-pharm.co.jp/>



株主・投資家向け情報のページ

## 役員



代表取締役社長  
永山 治



代表取締役  
副社長執行役員  
上野 幹夫



取締役  
専務執行役員  
児玉 龍三



取締役  
専務執行役員  
山崎 達美



取締役  
専務執行役員  
小坂 達朗

### 取締役

代表取締役社長	永山 治
代表取締役 副社長執行役員	上野 幹夫
取締役 専務執行役員	児玉 龍三
取締役 専務執行役員	山崎 達美
取締役 専務執行役員	小坂 達朗
社外取締役	大橋 光夫
社外取締役	池田 康夫
社外取締役	エイブラハム・イー・コーエン
社外取締役	ウィリアム・エム・バーンズ
社外取締役	エーリヒ・フンツィカー
社外取締役	パスカル・ソリオ
社外取締役	ジャンージャック・ガロー

### 監査役

常勤監査役	松本 茂外志
常勤監査役	達 保宏
社外監査役	藤井 保紀
社外監査役	小林 俊夫

## 社会責任報告書のご案内

### 社会責任報告書 CSR'09

<http://www.chugai-pharm.co.jp/profile/csr/index.html>



## アニュアルレポートのご案内

### アニュアルレポート2009

<http://www.chugai-pharm.co.jp/ir/irareport.html>







ここから、  
薬ができるんだ。

がん、リウマチ、  
腎性貧血、C型肝炎。  
私たちは、  
最先端のテクノロジーで  
病気に立ち向かっています。

バイオ、ゲノム、抗体医薬。

最先端テクノロジーから

生み出された中外製薬の医薬品は、

さまざまな疾病領域の治療に貢献しています。

新しい治療薬を待ち望む人がある限り、

私たちの挑戦は終わることはありません。



中外製薬

Roche ロシュグループ

今までにない医薬品を、今までにない力で創り出す。

<http://www.chugai-pharm.co.jp/>



用紙は、FSC森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



中外製薬株式会社

Roche ロシュグループ

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1  
TEL.03(3281)6611 (代表)